

第 31 回軟式野球大会 参加マニュアル



主 催 一般社団法人 神奈川県情報サービス産業協会

労働福利委員会

I. 日程及び組織

1. 参加チーム数 xx チーム
2. 参加費 6,000 円/1 チーム (健保のみ加入チーム 10,000 円/1 チーム)
3. 開催時期 4 月 ~ 11 月
4. 運営方式
トーナメント方式とする。ただし、一回戦で敗退したチームで敗者復活戦トーナメントを行い、本戦の準々決勝時点で敗者復活戦上位 2 チームを本戦に組込む。
各トーナメントの最終戦 (決勝戦、3 位決定戦) 以外は、決められたトーナメント表及び日程により、対戦チームごとに試合日時、場所を設定し、試合を実施。
最終戦 (決勝戦、3 位決定戦) は大会運営事務局で試合日時、場所を設定し実施する。
5. 大会運営事務局設定試合
最終戦 (決勝戦、第 3 位決定戦の 2 試合)
11 月 xx 日 (土) 関東学院大学野球部グラウンド
横浜市金沢区釜利谷南 3-22-1
京浜急行、金沢文庫駅下車バス (野村住宅センター行・または関東学院大学行)
6. 大会運営事務局
大会会長 (神情協会会長) 常山 勝彦
労働福利委員会委員長 板橋 哲也
大会運営委員長 大指 一郎
大会運営幹事 労働福利委員会メンバー
7. 事務の担当
神情協事務局 担当 笹村清美
TEL 045-316-2244
FAX 045-316-2246
E-Mail sasamura@kia.or.jp
8. 保険について
保険内容：災害死亡・後遺障害補償 300 万円、
入院 4500 円/日、通院 3000 円/日
(株)日本エイジェンシー
〒252-0313 相模原市南区松が枝町 13-9-101
担当：取締役副社長 鈴木貴司
TEL 042-743-0246 FAX 042-743-0376
携帯 090-8851-5797
Eメール nihon@oregano.ocn.ne.jp

※保険会社に連絡したのち、必ず神情協事務局にもその旨連絡すること。

Ⅱ.参加基準

1. 参加基準

- 1) 一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会に加盟している会社であること。
ただし、第 30 回大会で出場した神奈川県情報サービス産業健康保険組合のみ加盟のチームについては、参加を認める。
- 2) 運営方法とルールを守れる会社又はチームであること
- 3) 大会中での事故については当事者相互で解決すること
- 4) 賛助会員、または招待チームを参加させることもある。ただし、枠内に余裕がある場合に限る
- 5) 参加基準 1) に加盟している会社が、大会途中で加盟団体を退会した場合は、その時点で出場資格は消滅する。また、参加費についても返金はしないものとする。

2. メンバーの条件

- 1) 混成チームを可能とする。但し、出場メンバーは固定とし連絡先代表者を必ず届け出ること。
- 2) メンバーは各チームとも最低 11 名以上とし、各社の社員（含む、契約社員・アルバイト等）とする。

3. ユニフォーム・防具

- 1) ユニフォームの規定はなしとするが、背番号（ビブスの様なものでも可）を必ず付けること。
- 2) 背番号の形・大きさ・色についてはチーム内で必ず統一すること。
- 3) 打者及び走者用に両側か片側にイヤーフラップのついたヘルメット計 4 個を必ず着用すること。
なお、次打者及びベースコーチ用を合わせ、7 個のヘルメットを準備することが望ましい。（注 1）
- 4) キャッチャー用防具としては、レガース、マスク、ヘルメットは必須。プロテクターは任意とする。
- 5) 試合に出場する際の服装は、安全を確保する目的として必ず、帽子、ユニホーム(※1.)を着用すること。

※1. ユニフォームが無い場合は、トレーニングウェア(背番号付き)でも可能とする。

また、トレーニングウェアは、ケガを防止する際、長ズボンを着用することが望ましい。

※2. ユニフォーム等が対戦相手と同色又は統一されていない場合は、試合前に必ず対戦相手の了解を得ること。

Ⅲ.組合せ及び運営

1. 試合日 (参加チームおよび最終戦日程が決まりましたら下記日程を決定します)

1)対戦相手と協議の上、運営日程に合わせ試合日を決定し、試合を行う。

2)運営日程 各対戦終了日程は、次の通りとしますので、ご協力をお願いします。

第 1 回戦 5月 7日 (火) 12 試合

敗者復活 1 回戦 6月 11日 (火) 6 試合

第 2 回戦 6月 11日 (火) 1 試合

敗者復活 2 回戦 7月 16日 (火) 2 試合

第 3 回戦 8月 20日 (火) 6 試合

敗者復活 3 回戦 8月 20日 (火) 2 試合

準々決勝 9月 24日 (火) 4 試合

準決勝 11月 05日 (火) 2 試合

最終戦 (3位決定戦・決勝戦) 11月 x x日 (土) 関東学院大学グラウンド

3) 最終戦が雨天等で中止となった場合は、別途、対象チームと協議する。

2. 球場・公式審判

1)最終戦以外は、各チームが対戦相手と協議の上、自ら確保する。(注 3)

2)最終戦は、大会運営事務局で球場および審判は確保する。

3. 組合せ

1)今回の大会は、前年度ベスト4チームをシードとする。

2)組合せは、2月15日の「キャプテン会議及び組合せ抽選会」で抽選により決める。

3)1回戦で敗戦したチームは敗者復活戦へと進む。

4)敗者復活戦トーナメントにて勝利した2チームは本戦トーナメントの準々決勝に組込む。

5)詳細については、トーナメント表にて確認すること。

4. 対戦相手のお知らせ

1)組合せが決定次第、「対戦相手のお知らせ」を神情協事務局より e-mail にて連絡。

2)「対戦相手のお知らせ」が届き次第、各チームの責任者は、神情協事務局宛に E-Mail にて確認したことを返送する。なお、「対戦相手のお知らせ」連絡が不明の場合は、速やかに神情協事務局宛に問い合わせをする。

5. 報告義務

1)「対戦相手のお知らせ」通知時、結果報告の日時の指定日までに、勝ったチームは神情協事務局へ報告すること。

(報告方法)

FAX の場合・・・勝ったチームは対戦相手のサイン入りとする。

E-Mail の場合・・・CC を対戦相手に出す。

2)報告する際は、会社名とチーム名、試合経過を必ず記入すること。

例)	A システム(株) (A タイガース)	0 2 0 0 1 0 0	計 3
	(株)B エンジニアリング (B ジャイアンツ)	0 1 5 0 0 2 ×	計 8

3)大会の進行状況は、神情協ホームページ「イベントアルバム」の「第 30 回軟式野球大会」にて掲載。

6. 集 合

集合は原則として試合開始 30 分前とする。

7. 試合ボール

1) 決勝戦並びに三位決定戦は事務局にて準備しますが、準決勝までは各チームでの準備をお願いします。

試合ボールは、各チーム「ケンコーボールM号球」を 2 個以上用意すること。

2)最終戦は、大会運営事務局より支給する。

8. ルール

1)打者 10 人制 (DH 制) を選択可能とする。ルールは以下のとおり。

1.野手 9 人の他に DH として 10 人目の打者を認める。

2.DH はどの打順でもかまわない。

3.DH は野手になるまでは認める。逆に、野手から DH へなるまでも認める。

4.控え選手との交代はできる。

5.投手のところに DH も認める (打者 9 人) ルールはプロ野球パリーグ同様とする。(注 2)

6.できないこと

- ・ DH から野手そしてまた、DH になることは認めない。

- ・ 野手から DH そしてまた、野手になることは認めない。

- ・ 試合開始後に 10 人制もしくは 9 人制に変更することはできない。

2).コールドゲーム (5 回で 10 点以上の差がついた)

1.5 回の表裏を終了した場合

2.5 回表の終了時に後攻チームが勝っている場合

3.5 回裏の攻撃中に後攻チームが勝ち越した場合

※但し、双方のチームでコールドについては協議してもよいこととする。

3)最終戦：決勝戦における延長戦のルールは別途定め、最終戦出場チームへ案内する。

4)日程通りに試合が消化できない場合は、対戦相手のチーム同士で決定した方法で勝敗を決める。

5)雨天の場合は、4 回終了もしくは試合時間が 1 時間を過ぎた場合は試合成立とする。

6)試合当日にプレイヤーの人数が揃わなかった場合は、揃わなかったチームは不戦敗とする。

9. その他

1)早期球場確保をお願いいたします。

2)試合開始/終了の挨拶、片付け等は各チームの責任に於いて行う。

3) 最終戦 (決勝戦) のチームは、後片付けのお手伝いをお願いします。

(注1) 参考(野球・ソフトボール用具規則(軟式野球)から抜粋)

4. 装具の使用は、公認野球規則で規定されるもののほか、次の定めるものを装着または使用しなければならない。

(1) 捕手用のマスクは、連盟公認のものを使用しなければならない。

(2) 捕手は連盟公認のレガーズ・プロテクター、S・Gマークのついた捕手用ヘルメットを装着しなければならない。

(3) 打者、次打者及び走者は、S・Gマークのついた連盟公認のヘルメットを必ず着帽しなければならない。

(4) 打者、次打者、走者、ベースコーチはヘルメットを着用しなければならない。
一般チームの打者、次打者、走者は両側か片側にイヤーフラップのついたもの。

参考URL http://www.mizuno.jp/baseball/rule/rubber_ball.aspx

(注2) 参考(パリーグのDH制)

1. DHは必ず投手の代わりに打席に立つという考え方(野手の代わりはNG)

2. 試合の開始時にDHを使用しなかった場合、途中からDHを使うことはできない
(その逆はOKだが、その後DHを再使用することはNG)

3. DHの選手が途中から守備についた場合、その時点でDHは消滅する
(退いた選手の打順に投手が入る)

4. 投手が途中から守備についた場合、その時点でDHは消滅する
(DHの選手は退き、DHの打順に投手が入る)

(注3) 審判情報

・三浦 利明氏 電話： 090-4244-8944 Eメール： 0rf5-9183882w6r@ezweb.ne.jp

依頼する日時場所等の連絡は、緊急時を除き基本メールでお願いします。

手配完了後に審判の代表者名と連絡先携帯電話と金額の連絡があります。

日程によってはアサイン出来ない可能性もありますのでグラウンドが決まったら早めの連絡をお願いします。